

第7回グローバル・コミュニケーション・プログラムチームリーダー募集要項

1 目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2大学1高専（首都大学東京（以下、「首都大」という。）、産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

2 プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身につけるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

3 求める人材

- (1) チームリーダーとしてチーム活動を先導し、チームで協調しながら課題に取り組むとともに、リーダーシップの習得に意欲的な学生
- (2) 海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

4 対象者

- (1) 首都大 学部生
3年生以下を対象とする。但し、首都大大学院及び産技大への進学が決定している4年生も対象とする。
- (2) 首都大 大学院生
 - ア 博士前期
1年生を対象とする。但し、首都大大学院及び産技大への進学が決定している2年生も対象とする。
 - イ 博士後期
2年生以下を対象とする。
- (3) 産技大
1年生を対象とする。但し、首都大大学院への進学が決定している2年生及び長期履修制度による2年生も対象とする。
- (4) 高専生
 - ①東京都立産業技術高等専門学校専攻科に進学が決定している、もしくは首都大学東京3年次に編入が決定している本科第5学年の在校生
 - ②東京都立産業技術高等専門学校専攻科第1学年の在校生
 - ③首都大学東京大学院又は産業技術大学院大学への進学が決定している専攻科第2学年の在校生

※上記（1）から（4）までの対象者のうち、過去に本プログラムを受講したことのある

者は除く。

5 募集人員

6名程度

<チームの構成等>

- ・チームリーダー（1名）と高専本科生（4名程度）から成るチームに、高専教員をアドバイザーとして配置し、チームを編成する。

<構成員の役割>

- ・チームリーダーは、プロジェクトが円滑に進むよう、チーム活動を先導し、チーム及びプロジェクトのマネジメントを行う。
- ・メンバーは、他のメンバーと協力し、チームリーダーを支え、プロジェクトを遂行する原動力となる役割を担う。
- ・高専教員は、プロジェクトの円滑な進行のために、リーダー及びメンバーの相談に乗るアドバイザーとしての役割を担う。

6 実施時期及び期間

- （1）国内におけるプログラム：2019年4月～2019年10月末または11月
（※リーダーは2019年3月にリーダー研修を2日間程度、先行実施予定）
- （2）海外におけるプログラム：2019年8月末～9月中旬の8日間程度

7 海外におけるプログラム実施場所

シンガポール共和国

8 プログラム実施内容（予定）

- （1）国内におけるプログラム【事前学習】

ア 課題学習

- ・下記の課題についてチーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案
- ・国内フィールドワーク（テーマに関連する企業などへのインタビュー等）
- ・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、国内合宿 等
- ・各チームの進捗確認等を全体で実施（月1回程度）

<課題>

国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト
ー世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップー

高専生メンバー数名と首都大生・産技大生・高専専攻科生のいずれかのリーダーとでグループを作り、シンガポールの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、グローバルビジネスについて調査研究し、最終的に提案を行う。

- ・課題学習の詳細に関しては、別紙1を参照すること。
- ・チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時に、リーダーが中心となって設定する。

【参考】 過去のグローバル・コミュニケーション・プログラム調査テーマ

- 「世界で活躍できる日本ならではの水ビジネスの提案」
- 「日本らしさとは？オンリーインジャパンのIRを提案しよう！」
- 「マリーナ・ベイ・サンズとプラナカン文化の融合」
- 「魂で伝える！？ 本当に必要なインバウンド対策とは」
- 「誰もが活躍できる日本へ！」
- 「観光地の歩行者渋滞解消のための提案」

- イ 英語学習（コミュニケーション能力向上研修、プレゼンテーション研修）
- ウ リーダー研修（3月に2日間程度。4月以降随時。）
- エ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4月～6月に受験予定）

(2) 海外におけるプログラム

- ア 課題学習
 - ・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）
- イ 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション
- ウ 日系海外企業の事業調査

(3) 国内におけるプログラム【事後学習】

- ア 報告書の作成、最終報告会の実施
- イ プレゼンテーション研修（1日程度、10月実施予定）
- ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9月～11月に受験予定）

(4) プログラムへの参加について

- ア 以下(5)スケジュールに掲載されているものについて、原則として全員参加とする。参加にあたっては、前回プログラムスケジュール（別紙2）を確認の上、申込を検討すること。欠席及び遅刻状況によっては、以後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。
- イ 本プログラム受講途中に留年が決定した者は、その後のプログラムは受講できないものとする。

(5) スケジュール (予定)

			全体スケジュール	課題学習	英語学習
2019	3月	事前学習	○リーダーオリエンテーション① ○リーダーオリエンテーション②	○テーマ設定案の検討	
	4月		○全体オリエンテーション ○TOEIC、RIASEC 受験 ○全体研修① ○リーダー研修①	○テーマ設定 ○個人目標設定 ○現状の把握	○コミュニケーション能力向上 (チームリーダー:英会話学校等に個人で通学) (チームメンバー:キャンパス内及び英会話学校でレベルに応じて英会話講座受講を予定) (週1回 計12回程度)
	5月		○全体研修② ○リーダー研修②	○課題の把握・分析、解決策の検討 ○仮説の立案	
	6月		○全体研修③ ○国内合宿(都内での合宿、3日間程度)	○中間報告におけるプレゼンテーション準備 ○国内フィールドワークの実施 ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等 ○進捗確認等(月1回程度)	
	7月		○リーダー研修③ ○中間報告会		
	8月	○ガイダンス(渡航前) ○プレゼン研修①～③ ○全体研修④⑤ ○リーダー研修④	○中間報告会での指摘を踏まえ内容の精査	○英語プレゼンテーション準備 (チーム毎に受講) (3日間程度)	
	9月	海外学習	○シンガポール派遣 ○全体研修⑥	○課題の検証(フィールドワーク) ○英語によるプレゼンテーション ○現地学生交流 ○企業調査	
	10月 又は 11月	事後学習	○プレゼン研修④ ○全体研修⑦ ○TOEIC、RIASEC 受験 ○最終報告会 ○全体研修⑧		○英語プレゼンテーション準備 (1日間程度) チーム毎に受講予定

※スケジュールは4月の全体研修①の際に確定する。

※全体スケジュールの記載事項は原則として全員参加とする。リーダーについて、TOEICスコア500点以上又はTOEIC500点以上に相当するTOEFL、IELTS等のスコアを取得している場合は英語学習(コミュニケーション能力向上)の参加を任意とする。

9 経費負担

研修経費の負担は以下のとおりとする。なお、負担経費の確定は、2019年度の本プログラム実施予算が決定する2019年4月1日以降とする。

(1) 参加者個人負担分

(2) 以外の諸経費(フィールドワークにかかる交通費、食事代等)は自己負担とする。

<例>

- ア 国内及び海外プログラム（上記8参照）期間中の交通費（一部）及び食事代
※国内合宿に係る食事代を含む。
※国内プログラムに係る交通費の一部補助あり。
 - イ パスポート申請手数料
 - ウ 海外旅行保険料（個人用）
 - エ 英語学習に係るテキスト代
 - オ その他個人で支出する費用
- (2) 公立大学法人首都大学東京負担分
- ア 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費
 - イ 国内及び海外プログラムに係る研修受講料
 - ウ 国内合宿に係る宿泊費
 - エ 国内及び海外プログラムに係る諸経費（食事代を除く）
 - オ TOEIC 受験料

10 出願

(1) 出願書類

- ア グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書【様式1】
- イ 志望動機【様式2-1】、課題学習のテーマについて興味のあること【様式2-2】
- ウ 学生証（写）
- エ 成績証明書（原本）及び成績通知書（写）
※学部1年生は提出の必要なし。また、修士・博士1年生及び編入生は、最終学歴の成績証明書のみを提出すること。
- オ 健康診断書
- カ 語学能力を証明する書類（任意）
※証明する書類がない場合、提出は不要
※コピー可
※TOEIC、TOEFL iBT、IELTS等。（2017年1月以降のもの）

(2) 出願方法

上記（1）の書類に必要事項を記入・作成の上、下記へ提出する。

ア. メールでの送付

gcp-leader@jmj.tmu.ac.jp

イ. 書類での提出

【首都大】

南大沢キャンパス：国際課国際連携係

日野キャンパス：学務課企画担当

荒川キャンパス：学務課教務係

【産技大】

管理課 教務学生入試係

【高専】

高専品川キャンパス：管理課教務学生係

高専荒川キャンパス：管理課教務学生係

(3) 書類受付期間

2019年1月4日（金）から18日（金）まで（平日9時から17時まで）

1.1 選考

(1) 選考方法

提出書類及び面接の結果により、総合的に判断し、プログラム参加者を決定する。

(2) 面接の実施

面接は別途、日時を指定する。応募者が多数の場合、書類選考の上、面接受験者を決定する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

(3) 書類選考結果及び面接実施日の周知

出願書類受領時に行う。

1.2 結果の通知

可否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。（2月下旬予定）

1.3 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募で提供された個人情報は、選考の目的以外には使用しない。

1.4 特記事項

海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

1.5 その他

(1) 海外プログラム参加時（2019年8月）までに、TOEIC スコア 500 点以上を取得することを目標とすること。

(2) 本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降の GCP 事業に協力すること。

1.6 問合せ先

公立大学法人首都大学東京 経営企画室国際推進担当

電 話：042-677-4958

メールアドレス：gcp-leader@jmj.tmu.ac.jp